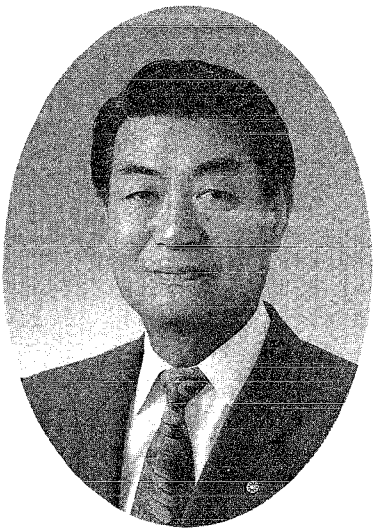


# 新年のご挨拶



小須戸町長 佐藤 太加志

新年おめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

激動の二十世紀・今世紀最後の年明けを迎えられ、町民の皆様には如何様な思いでお正月をお過ごしでしょうか。

私はやはり例年の通り、この町の無事故、無火災、無災害をまず祈念した次第であります。そして更に不況脱出、経済安定を大きな願いと致しました。

激動、激変、戦争、戦後で綴られた今世紀ではありましたが、一方では科学、文化、産業経済、

環境の面で著しい進歩発展と変化がもたらされました。

そして日本の国は、今では世界一の長寿国となり、また経済先進国となりました。しかしその反面、環境汚染国としてもその状況は進んでおります。

環境汚染は物質文明の進歩、拡大に起因する社会現象ともいえましよう。また物の供給過剰は、勿体ない、節約をする、物が足りないなどの言葉を遠くへ追いやってしまったようでもあります。その反面、人の心の中の尊いものが失われがちとなり、自己、

利己中心主義が普通であるような感覚が強くなっているようがあります。他人に対する、思いやり、迷惑行為、事の善悪の判断などの配慮が希薄になってしまったようでもあります。

むかし昔には、いたわり、かばい、助け合い、不善をせず、は当り前でありました。今日でもそのような心をお持ちの方々が多々おられるとは思いますが、一般社会的に見た場合、道徳に対する認識は薄れているのではないかと思います。

「道徳」古い言葉ですが尊い言葉だと私は信じております。新世紀を目前にした今こそ、二十世紀を顧みながら、二十一世紀には何が必要かを考えてみることも大切かと思えます。

さて社会の現状に目を向けてみますとき、相も変らぬ経済不況が続いております。パブルに踊り、パブルで泣いた多くの企業のもたらしたとぼっちりを受けて、一般の国民が苦しんでいるのであります。『消費が落ち込んで、政治、経済の關係者は愚痴をこぼしております。が、当り前のことだと思えます。』

## 十二支中唯一の空想の動物

十二支の五番目の干支である辰へたつは、十二支中のただ一つの空想上の動物です。一般には「竜」と書き、「タツ」または「リュウ」と呼ばれています。

竜の伝説は世界各地に分布しており、さまざまな形で伝えられています。

その姿は、おおむねヘビやトカゲのような体に、角をもった猛禽類か猛獣の頭、それに翼を組み合わせた形で描かれています。また、竜の性格や役割も、悪役になったり、神聖な動物として扱われたりと、地域によってさまざまです。

## 世界各地に伝わる神話の中の竜

英語やフランス語ではドラゴン (dragon) と呼ばれる竜。ヨーロッパの神話では、暗黒の化身のように扱われ、英雄や神々に征伐される話が残っています。

インドでは、竜はヘビを神格

# 今年辰年

化した半蛇半神として扱われています。雲を呼び、雨を降らせる力があるとされ、雨によって五穀豊穡をもたらすと信仰されています。

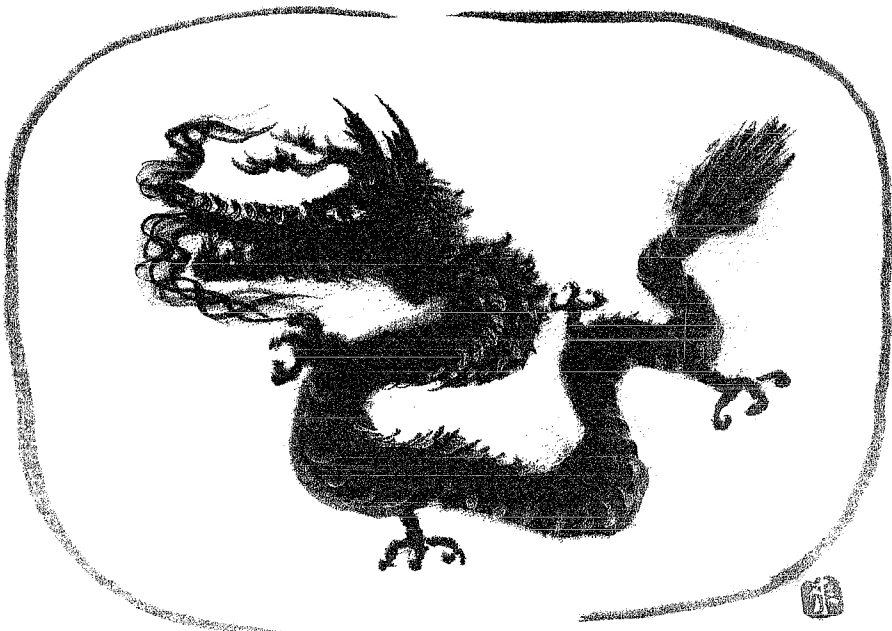
中国では竜は麒麟、鳳凰、亀とともに四霊と呼ばれています。竜は淵にすむ神秘的な動物で、水や雨に関係するとされていきます。また、竜は天子のシンボルとされ、天子の顔を竜顔などと表現していました。

## 困難を乗り越えて躍進する年へ

「竜」のつく言葉では、「竜頭蛇尾」「画竜点睛」「登竜門」などがよく知られます。

「登竜門」は、黄河上流の急流の渓谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から、成功への一歩となる難関という意味があります。

辰年にあやかっつて、今年難関を突破し、飛躍の年にしていきたいですね。



介護保険制度もスタートライ

して、年頭のご挨拶といたします。

